

### <生徒の感想>

・私はコロナ経済についてホワヨン生と筑波生とディスカッションしました。ホワヨン生から出てくる単語一つ一つが私にとっては知らない単語ばかりで戸惑う事が多々ありましたが、落ち着いてバディに聞き返す事でお互いにコミュニケーションができることが分かりました。分からないからといって聞き返さずに下を向くより、堂々と聞き返すことが大事だと改めて感じる事ができました。また、英語が少しでも話せると視野がより一層広がるということを実感しました。このプログラムを経験して、私自身、これからも英語力を伸ばせるよう頑張りたいと思います。このような素敵な体験を企画してもらいありがとうございました。これからは SNS や手紙を通してホワヨン生と交流していきたいと思います！

・今回、初めてオンラインでの交流に参加させていただいて、実際の交流とは違う学びがありました。Zoom ではみんなが一斉に話すというよりは順番に話していくという感覚が強く、話し始めるタイミングが難しく積極的に自分から話す姿勢を学べました。対面の会話では、言葉につまっても、ジェスチャーなどでコミュニケーションが取れますが、今回はほぼ言葉だけだったので、ものすごく伝えるのが難しく、自分の英語の拙さを痛感しました。当然ですが、シンガポールの生徒たちは英語を流暢に話せていて、自由自在に自分の意思を伝えている様子を見て、私も英語をもっとアウトプットしていく練習を積みたいと思いました。また、ディスカッションで HCI 生から聞いた、「シンガポールの労働者に占める地元の人の割合がコロナ禍になってから増えた」という変化は、日本にはない多国籍国家ならではの状況で、すごく興味深いと思いました。同じ「新型コロナウイルスの影響」という話題でも、国の背景によって、社会への影響が全く異なるということを実感しました。今回のプログラムはとても楽しかったので、バディの生徒たちとは SNS を通して、今後も交流を続けたいと思います。

今回のオンライン交流では、生徒たちは**目的意識**を持ってしっかりと取り組んでくれました。対面とは違い、ジェスチャーなどのノンバーバル・コミュニケーションを得られない分、より「何を話すか」に**重点**を置かなければならず、オンライン**国際交流**ならではの**学び**もあったようです。この状況の中でも、「英語でコミュニケーションをとる」、「異なる背景、価値観の同世代と意見交換をする」、「日常の中では知ることができないような知識・気づきに出会う」といった**国際交流の醍醐味**をしっかりと**楽しみ、学ぶ**ことができていました。また、改めて**外国語習得の大切さ**を学ぶ**貴重な機会**となりました。

今後も、本校としては、**時代の変化に柔軟に対応**しつつ、**国際社会で活躍できる人材育成**のため、**生徒主体**のプログラムを展開していきたいと考えています。